

社会資本総合整備計画(防災・安全) 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標1】	東深川処理区(仙崎分区・東深川分区)の主要な管渠の改築・更新達成率を11.4%(H27)から59.3%(H31)に増加させる。
-------	---

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	平成27年3月
②実施主体	長門市
③計測手法	H27.3現在の東深川処理区(仙崎分区・東深川分区)の管渠の整備延長(a)、改築・更新済延長を(b)とし、(b)/(a)で算出。 管渠整備延長(a)は8.89Km(仙崎分区:4.59Km、東深川分区:4.3Km)、改築・更新済延長(b)は仙崎分区の1.01Km。 $1.01/8.89=11.4\%$

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	平成30年3月
⑤実施主体	長門市
⑥データの計測方法	H30.3末までの改築・更新済延長(b)、管渠整備延長(a)から、(b)/(a)で算出。
⑦評価値の求め方	改築・更新区域は、仙崎分区4.59Kmの内H30.3末(H27～H29)までに2.66Kmを改築・更新予定であり、改築・更新済延長(H27.3)は1.01Kmに2.66Kmを加え3.67Km。 $3.67/8.89=41.3\%$

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	平成32年3月
⑨実施主体	長門市
⑩データの計測方法	H32.3末までの改築・更新済延長(b)、管渠整備延長(a)から、(b)/(a)で算出。
⑪評価値の求め方	改築・更新区域は、東深川分区4.3Kmの内H32.3末(H30～H31)までに1.60Kmを改築・更新予定であり、改築・更新済延長(H30.3)は仙崎分区の3.67Kmに東深川分区の1.60Kmを加え5.27Km。 $5.27/8.89=59.3\%$

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画(防災・安全) 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標2】	東深川処理区の処理場の長寿命化計画実施率を0.0%(H27)から100.0%(H31)に増加させる。
-------	--

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	平成27年3月
②実施主体	長門市
③計測手法	H27.3現在、長寿命化計画を策定した処理場箇所数(a)、実施済処理場箇所数を(b)とし、(b)/(a)で算出。計画策定処理場箇所数(a)は1箇所、実施済処理場箇所数(b)は0箇所。 $0/1=0.0\%$

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	平成30年3月
⑤実施主体	長門市
⑥データの計測方法	H30.3末までの実施済処理場箇所数(b)、計画策定処理場箇所数(a)から、(b)/(a)で算出。
⑦評価値の求め方	計画を実施する処理場は、東深川処理場の1箇所であり、H30.3末までに改築を完了する箇所数は0箇所。 $0/1.0=0.0\%$

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	平成32年3月
⑨実施主体	長門市
⑩データの計測方法	H32.3末までの実施済処理場箇所数(b)、計画策定処理場箇所数(a)から、(b)/(a)で算出。
⑪評価値の求め方	計画を実施する処理場は、東深川処理場の1箇所であり、H32.3末までに改築を完了する箇所数は1箇所。 $1.0/1.0=100.0\%$

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画(防災・安全) 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標3】	下水道による正門市排水区の浸水対策実施率を42.3%(H27)から52.9%(H31)に増加させる。
-------	--

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	平成27年3月
②実施主体	長門市
③計測手法	H27.3現在の正門市排水区内の雨水渠延長(a)、整備済延長を(b)とし、(b)/(a)で算出。 雨水渠延長(a)は4.97Km、整備済延長(b)2.10Km。 $2.10/4.97=42.3\%$

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	平成30年3月
⑤実施主体	長門市
⑥データの計測方法	H30.3末までの整備済延長(b)、雨水渠延長(a)から、(b)/(a)で算出。
⑦評価値の求め方	整備計画区域は、正門市排水区内の雨水渠延長4.97Kmの内、H30.3末(H27～H29)までに0.34Kmを整備予定であり、整備済延長(H27.3)は2.10Kmに0.34Kmを加え2.44Km。 $2.44/4.97=49.1\%$

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	平成32年3月
⑨実施主体	長門市
⑥データの計測方法	H32.3末までの整備済延長(b)、雨水渠延長(a)から、(b)/(a)で算出。
⑦評価値の求め方	整備計画区域は、正門市排水区内の雨水渠延長4.97Kmの内、H32.3末(H30～H31)までに0.19Kmを整備予定であり、整備済延長(H30.3)は2.44Kmに0.19Kmを加え2.63Km。 $2.63/4.97=52.9\%$

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画(防災・安全) 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標4】	東深川処理区における管渠の長寿命化計画策定率を51.6%(H27)から100.0%(H31)に増加させる。
-------	---

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	平成27年3月
②実施主体	長門市
③計測手法	H27.3現在、長寿命化計画を策定した管きよ延長を(a)、策定済管きよ延長を(b)とし、(b)/(a)で算出。計画策定管きよ延長(a)は8.89Km、策定済管きよ延長(b)は4.59Km。 4.59/8.89=51.6%

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	平成30年3月
⑤実施主体	長門市
⑥データの計測方法	H30.3末までの策定済管きよ延長(b)、計画策定管きよ延長(a)から、(b)/(a)で算出。
⑦評価値の求め方	計画を策定する管きよ延長は、東深川処理区の8.89Kmであり、H30.3末までに計画策定を完了する管きよ延長は8.89Km。 8.89/8.89=100.0%

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	平成32年3月
⑨実施主体	長門市
⑩データの計測方法	H32.3末までの策定済管きよ延長(b)、計画策定管きよ延長(a)から、(b)/(a)で算出。
⑪評価値の求め方	計画を策定する管きよ延長は、東深川処理区の8.89Kmであり、H32.3末までに計画策定を完了する管きよ延長は8.89Km。 8.89/8.89=100.0%

※必要に応じて資料を添付してください